

2019年 5月16日

熊本放送文化振興財団 御中

NPO法人 オハイエくまもと
会 長 入部 祥子



2018年度下期に助成頂きました「第10回とっておきの音楽祭」につきまして下記の通りご報告いたします。

- 催事名 NPO法人 オハイエくまもと 第10回とっておきの音楽祭
- 実施日 平成31年3月24日(日)
開会式 10時15分~11時45分
ストリート演奏 11時~15時
- 会 場
 - ・開会式・フィナーレ : 花畑ひろば
 - ・演 奏 : 花畑ひろば、辛島公園、NTT前、城彩苑、新市街、現代美術館、下通りココカラファイン前、下通りマツキヨ前、RKKアトリウム 以上9会場。
- 参加団体 100個人・団体 650名
 - ・県外からの参加 : 山形、福島、宮城、東京、兵庫、静岡、大阪鹿兒島、福岡など15グループ 24人。
- 運営スタッフ・ボランティア 360名(うち高校生180名)

オハイエくまもと第10回とっておきの音楽祭は上記の要領で天候にも恵まれての開催となりました。

開会式では宮城県のダウン症のリコーダー奏者、荒川知子ファミリー、兵庫県の右手首欠損でダウン症の鈴木凜太朗さんなどの演奏、10周年を記念して、オハイエくまもとの活動に多大なる支援を頂いた各社・個人に感謝状の贈呈を行いました。

花畑ひろば会場では、田崎市場、スーパー宮原の協力で食の販売、辛島公園会場ではトヨタグループの協力で福祉車両の展示、新市街アーケードでは県内31福祉施設の作品展示即売を開催しました。

各会場では11時~15時で、市街地9箇所に設けた特設(簡易)ステージでストリート演奏。特に、下通りココカラファイン前にはグランドピアノを置き、クラシック、ジャズ、手話、コーラス等で会場を賑わせました。それぞれの会場で、小学生から高齢者まで、プロ・アマ、音楽のジャンルを問わない音楽祭となりました。

ストリート演奏終了後には、花畑ひろばでフィナーレを開催。くまモンには、障がいのある人が大喜び、また、ステージのラストを飾って大西熊本市長の見事なドラム演奏では会場が大いに盛り上がりました。

以下、会場スナップです。(9会場のうち抜粋)



SUPER TONES (花畑広場)



すみママファミリー (RKKアトリウム)



オハイエ音楽隊 (花畑ひろば=フィナーレ)



TWO AS ONE (下通りココカラファイン前)

第10回とっておきの音楽祭 決算書

2019 (H31) 年3月24日 開催

事業収益	広告収入	3,473,000	ガイドブック
	物品販売収入	783,660	
	運営協力費収入	492,400	参加費
	バザー収益	61,300	
	交流会収入	871,500	前夜祭 (出演者、関係者、障がい者の交流会)
	寄付金	499,434	
	雑収入	42,387	
	助成金収入	500,000	熊本放送文化振興基金・ひのくに知的障害児生活サポート協会・熊本善意銀行・公徳会
	計	6,723,681	
事業経費	楽器整備費	93,080	楽器レンタル、調律費
	音響機材・映像費	3,809,808	
	撮影機材・編集費	194,400	
	警備費	218,862	
	グッズ制作費	778,270	
	印刷製本費	947,700	ガイドブック
	備品消耗品費	12,670	
	事務用消耗品費	12,131	
	会場費	171,510	花畑広場、びびれす
	租税公課	2,400	
	旅費交通費	349,844	ゲスト分 (荒川ファミリー、あんべ光俊他)
	交流会費	309,444	前夜祭経費
	雑費	160,848	保険、風船代、ゴミ処理代等
		計	7,060,967
	収支計	▲ 337,286	

以上、ご報告致します。

オハイエくまもと第10回

とっておきの音楽祭

実行委員長 入部祥子

